

Title	モードチェンジする都市：感染症に対するレジリエンス強化
Sub Title	
Author	香西, 孝司(Kōsai, Kōji) 小関, 健太郎(Ozeki, Kentarō) 小久保, 智淳(Kokubo, Masatoshi) 久木田, 信哉 本田, 新九郎
Publisher	慶應義塾大学 博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型「超成熟社会発展のサイエンス」事務局
Publication year	2020
Jtitle	超成熟社会発展のための政策提言書 (2020. ) ,p.[1]- [7]
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	社会課題解決プロジェクト03
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005001-00002020-0100">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12005001-00002020-0100</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

モードチェンジする都市  
—感染症に対するレジリエンス強化—

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 博士課程

香西 孝司

慶應義塾大学大学院 文学研究科 博士課程

小関 健太郎

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 修士課程

小久保 智淳

メンター

慶應義塾大学工学部 訪問教授

日本電気（株）政策渉外部グローバル渉外室 主席主幹

久木田 信哉

慶應義塾大学工学部 訪問教授

西日本電信電話（株）ビジネスデザイン部 テックデザイン部門 部門長

本田 新九郎

# 一般PJ3: スマートシティ・プロジェクト

## モードチェンジする都市 - 感染症に対するレジリエンス強化 -



### <RA (学生)>

香西孝司 (主専攻: 理工学研究科 副専攻: 商学研究科)  
小関健太郎 (主専攻: 文学研究科 副専攻: 理工学研究科)  
小久保智淳 (主専攻: 法学研究科 副専攻: 理工学研究科)

### <メンター>

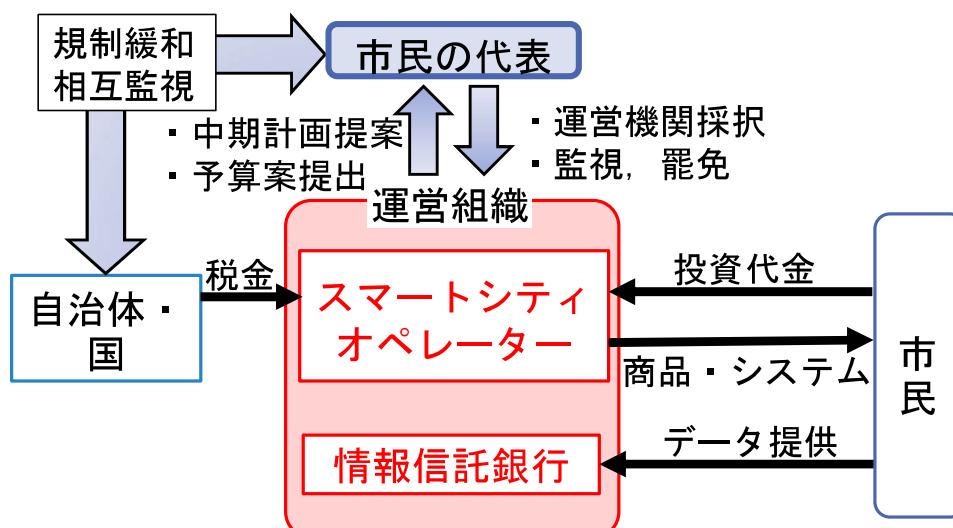
久木田信哉, 本田新九郎

1

## スマートシティに対する考え方

### = データドリブンに持続可能発展を遂げる大都市

- 大都市一極集中は不可避、都市型課題の解決が急務
- スマートシティは有効な対策となるが、資金の循環が難しい  
→ 経営する大都市構想 (昨年度)

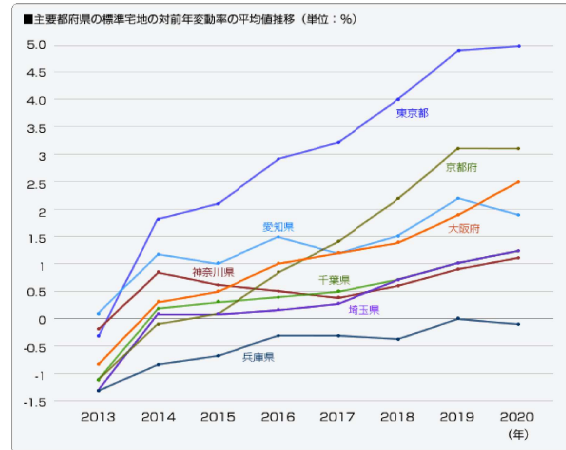
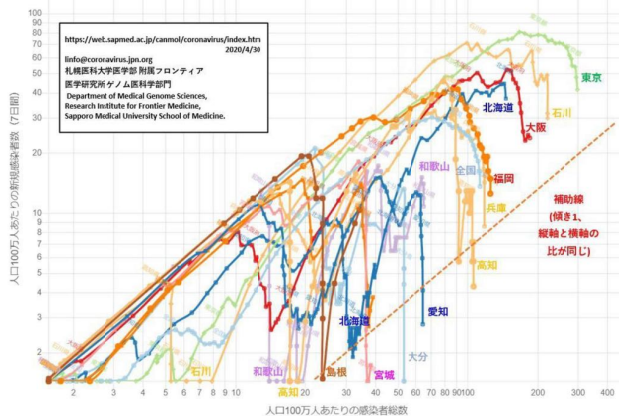


# スマートシティとレジリエンシー

## 大都市型スマートシティのリアリティ

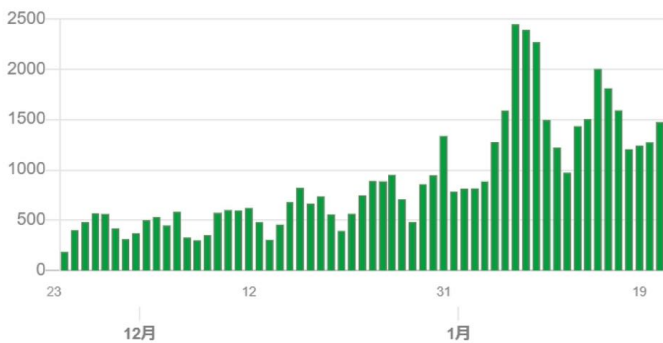
- 地方移転の動きがある一方、路線価も鈍化はしたものの上昇  
大都市一極集中に変化はない (超成熟社会の宿命)
- 安全保障は人口密集地の課題  
→テロ、感染症、災害、戦争...

【都道府県別】新型コロナウイルス感染者数のトラジェクトリー解析



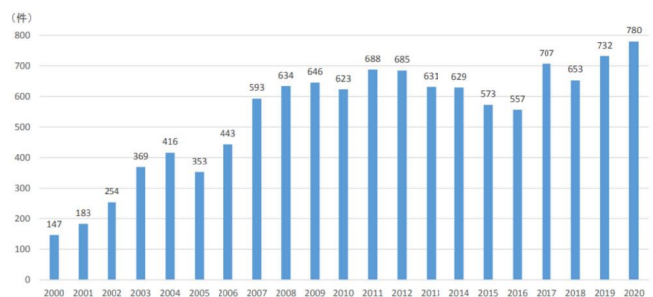
# パンデミックによる課題の顕在化

都市部を中心に新型コロナウイルスの感染が拡大  
→ 飲食業などに大きなダメージ



東京都での感染者数推移

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/cards/number-of-confirmed-cases/>



飲食店の倒産件数推移  
(出展: 帝国データバンク)

<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p210101.pdf>

感染症に対する都市のレジリエンシー強化が必要

# 提言が実現を目指す姿

## ① エビデンスベースの対応施策

## ② 危機下での経済活動・都市機能の維持

### 現状

- 一律給付金
- 一斉自粛要請
- 自助努力



### 目標

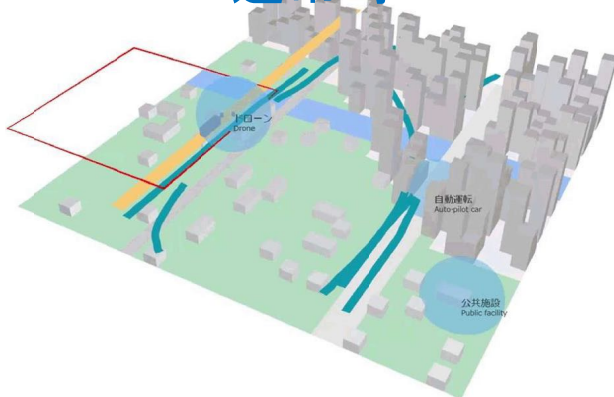
- ✓ データに基づく現状分析
- ✓ 継続できる都市活動の最大化
- ✓ 給付金の対象の網羅性や額面の最適化

次世代都市としてのスマートシティを念頭に、  
スマートシティ政策への組み込みで実現

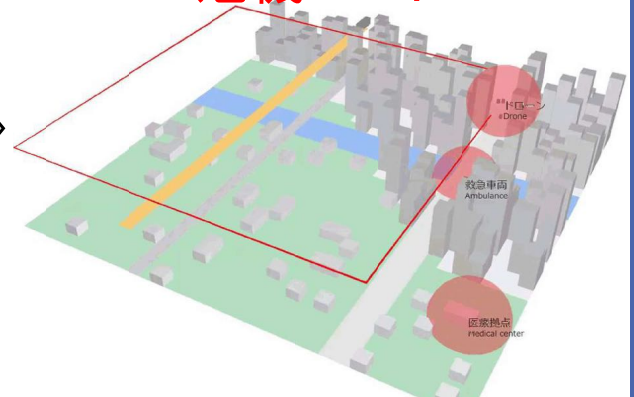
# 「モードチェンジする都市」の提案

通常時と危機下で都市のあり方(モード)を切替

### 通常時



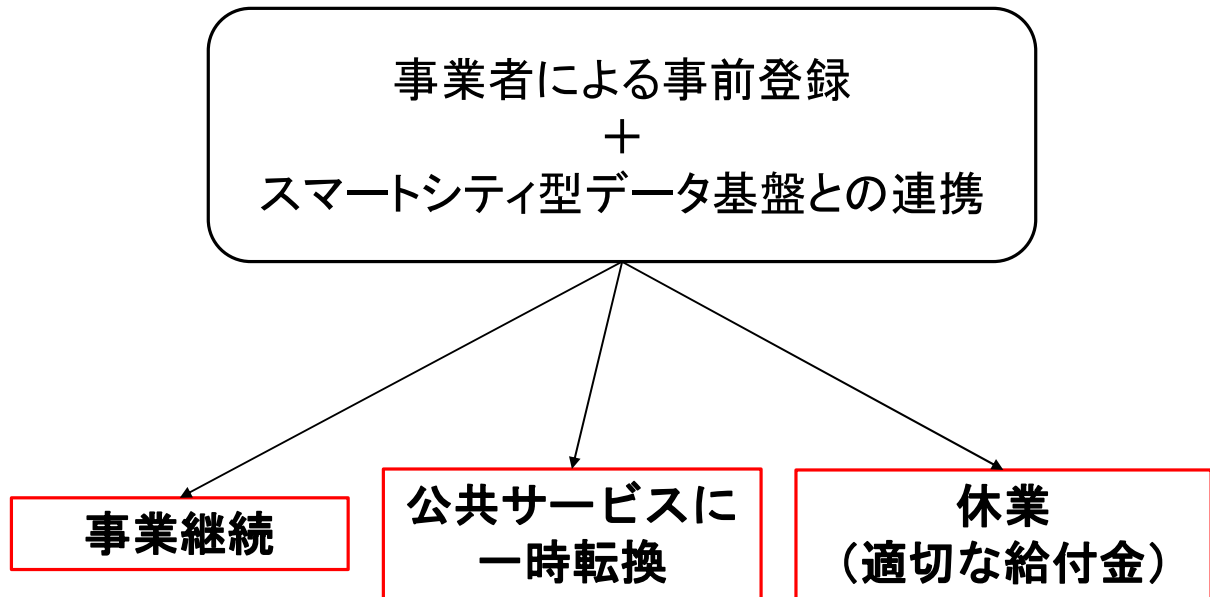
### 危機モード



危機を想定した都市活動の「モード」とその適切な切替を法制度的・インフラ的に整備すべき  
(本提言では経済領域にフォーカス)

# 経済活動のモードチェンジ

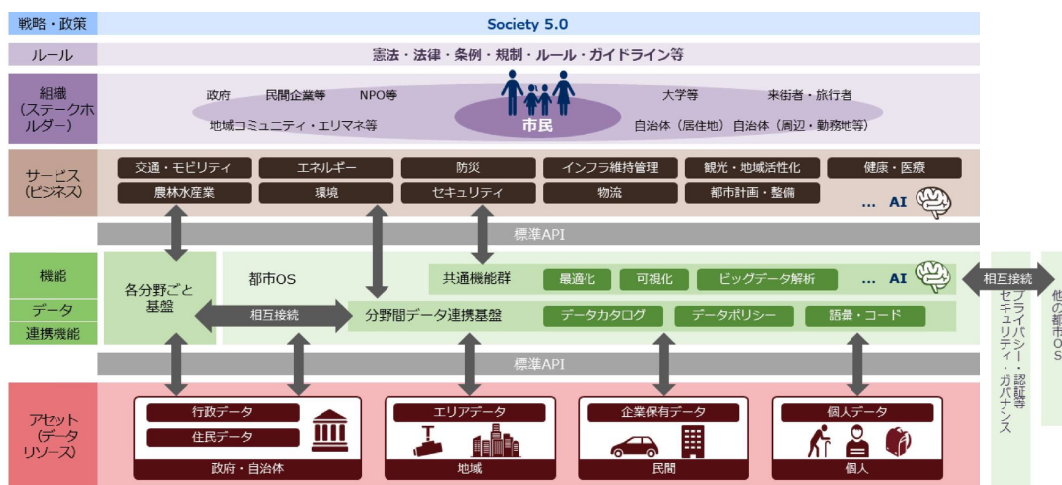
危機モードにおける経済活動の基本的あり方のモデル



7

## データ基盤との連携

スムーズなモードの切替と施策展開のために、スマートシティの核となるデータ基盤を活用すべき



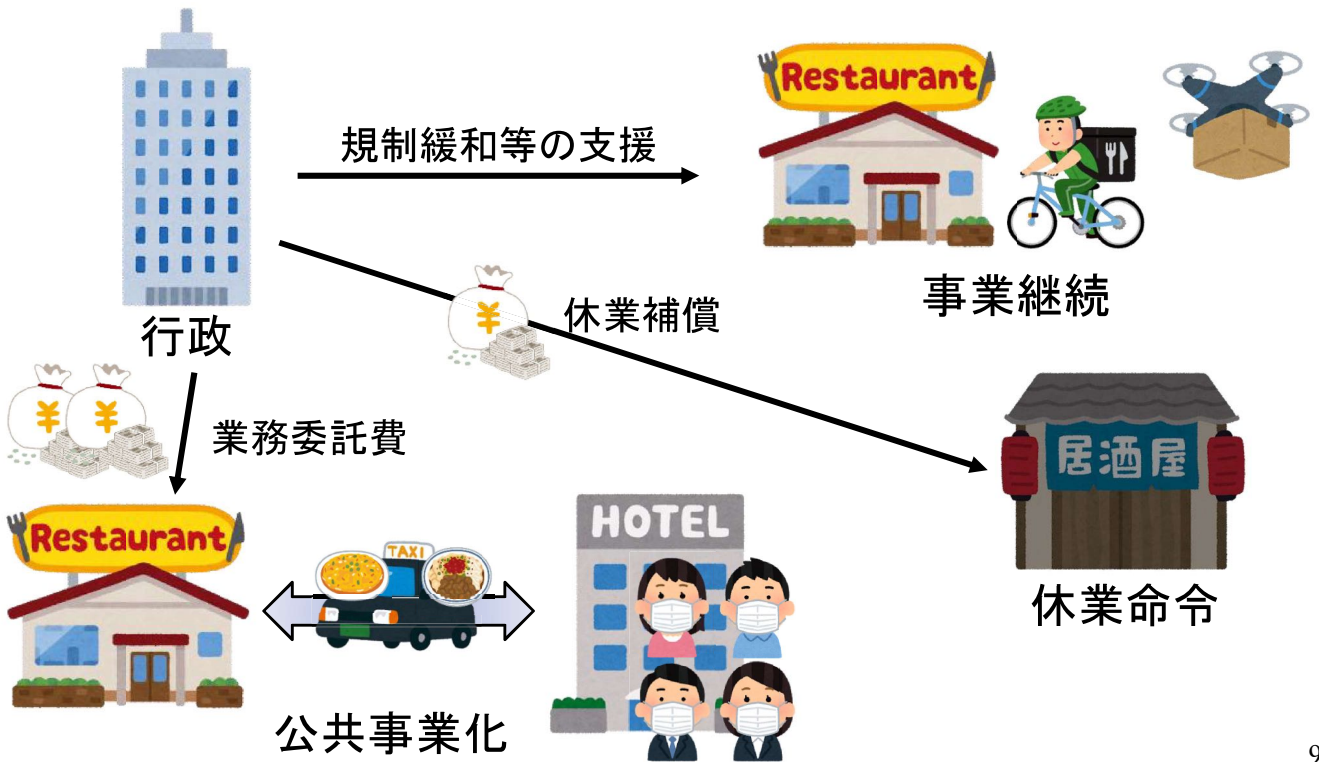
出典：COCN2018年度プロジェクト最終報告「デジタルスマートシティの構築」を元に内閣府作成  
<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg6/190418/pdf/shiryu3-2.pdf>

スマートシティの機能を生かせるアプローチが重要

8

## 危機モード時

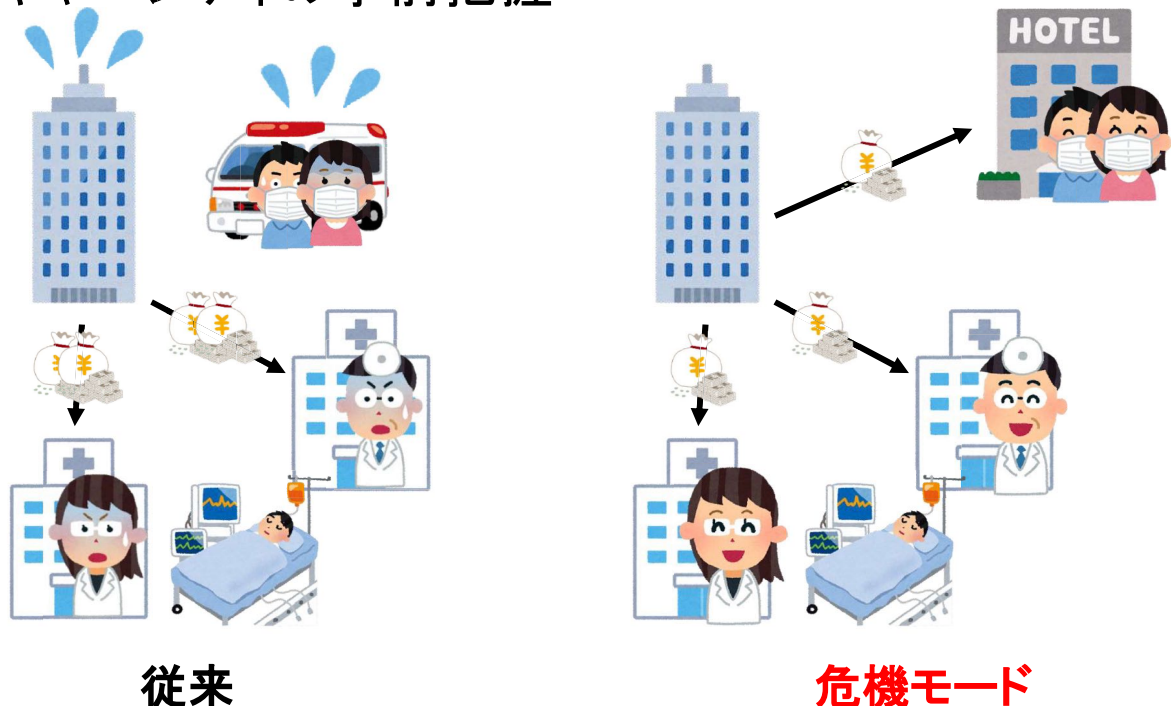
- 危機モードにおける事業活動のスムーズな移行
- 給付金などの支援対象、分配の適正化、自動化



9

## 行政にとってのメリット

- 既存のインフラを活用 → 投資の負担軽減  
(例) ホテル活用による医療設備への投資節約
- キャパシティの事前把握



従来

危機モード

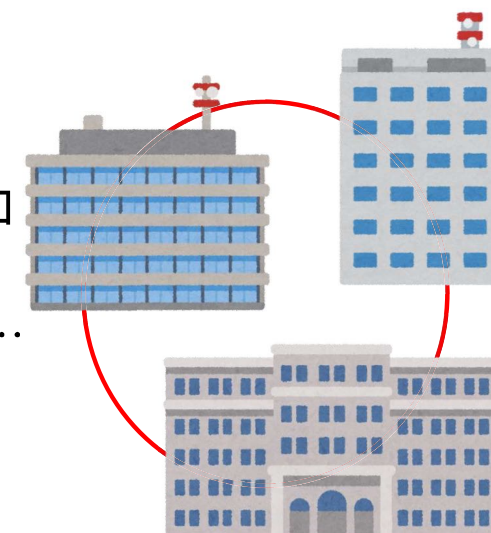
10

## 実現に必要な施策

- 円滑な情報共有のための規制緩和
- 業務形態の変化に対応する規制緩和
- ドローンのための規制緩和

等々...

個人情報保護法、  
行政個人情報保護法、  
個人情報保護条例、  
貨物自動車運送業法、  
食品衛生法、道路運送車両法、  
航空法、自動車損害賠償補償法、  
製造物責任法、民法 etc...



省庁間での情報の共有

情報共有・許可制の規制をシフトチェンジさせる必要がある

## まとめ

### 課題

- 感染症対策をはじめ今後の都市のレジリエンシー強化は必須

### 提言のキーワード:「モードチェンジする都市」

- スマートシティ内における事前の登録、データ提供
- データに基づいた危機モードを設定
- 危機モードにおける事業活動のスムーズな移行
- 給付金などの支援対象、分配の適正化

### 必要な補助施策

- 関連法案・条例の適正な運用や規制緩和の検討
- データ活用基盤の整備推進